

## 高橋 恭子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 高橋恭子（2021）「第10章 医療ソーシャルワーカーの歴史」小原真知子・今野広紀・竹本与志人編『保健医療と福祉』ミネルヴァ書房、148-158.
- 2) 高橋恭子（2021）「第4章 戦後の日本における医療ソーシャルワーク史—昭和20年代～30年代の神奈川県における医療ソーシャルワークの歴史」神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科監修、西村淳編代『地域共生社会と社会福祉』法律文化社、62-78.
- 3) 高橋恭子（2022）「第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、67-74.
- 4) 高橋恭子（2022）「第4章第1節 ソーシャルワーク前史」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、142-154.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 2) 横須賀市総合計画審議会副委員長.
- 3) 日本社会福祉学会、機関誌『社会福祉学』査読委員.
- 4) 日本保健医療社会福祉学会、査読委員.
- 5) 日本保健医療社会福祉学会、医療ソーシャルワーク資料集編纂委員会委員.
- 6) 日本医療ソーシャルワーカー協会、保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修課題作成及び採点担当.
- 7) 日本医療ソーシャルワーカー協会、保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修チーム員.
- 8) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、実習指導委員会委員.

### 5 社会貢献

- 1) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育（社会福祉士実習指導者講習会）「ソーシャルワークの本質としてのヒューマンサービスの理解」 2021.6.
- 2) 高校教員説明会、学科説明 2021.6.
- 3) ソーシャルワークの視点をもった教員の養成研修「ヒューマンサービス論」神奈川県教育委員会、2021.7.
- 4) ソーシャルワーク視点をもった教員の養成研修「ソーシャルワーク論」神奈川県教育委員会、2021.7.
- 5) 性暴力対応ネットワーク StaRT かながわ事務局長.

### 6 講演，放送

- 1) 高橋恭子、小峯千明、武石紗熙、高田奈央、中島亜衣、林愛美（2021）「経済的理由で治療や療養先の選択が限られる患者と医療ソーシャルワーカーの支援に関する研究」2021年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会、2021.8.

## 7 学会等での活動

- 1) 高橋恭子 (2021) 「戦後の神奈川県における医療ソーシャルワーク史－昭和 20 年～30 年代の神奈川県における医療ソーシャルワークの歴史－」 社会事業史学会. 2021. 5
- 2) 高橋恭子、『東京社会福祉研究』第 15 号合評会講評 菅田理一氏・桜井昭男「資料紹介/『波蘭児童関係日誌』(三)－一九二一(大正一〇)年四月一日～八月一四日－東京社会福祉史研究会」 2021. 8.

## 8 学内教育活動

- 1) 学生サークル「Child Wish」顧問.
- 2) 学生サークル「バスケットボール部」顧問.
- 3) 学部担当科目「医療福祉論」「精神保健学Ⅱ」「ソーシャルワークⅣ」「社会福祉の歴史と現代社会」「ヒューマンサービス論Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」「社会福祉専門実習」.
- 4) 大学院担当科目「ソーシャルワーク特論Ⅲ」「ヒューマンサービス特論・演習」「社会福祉特別演習」「社会福祉学特別研究」「医療社会福祉実践・政策特論」「医療社会福祉実践・政策演習」「保健福祉学特別研究」.
- 5) 国家試験対策講座担当科目「保健医療サービス」、「相談援助の基盤と専門職」.
- 6) 実践教育センター担当科目「保健医療福祉論」.

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長.
- 2) 教育研究審議会委員.
- 3) 学長補佐会議委員.
- 4) 総務・企画委員会委員.
- 5) 地域貢献研究センター運営会議委員.
- 6) COI (利益相反) 委員会委員.
- 7) 第二次将来構想検討委員会委員.
- 8) 内部質保証推進部会委員.

## 新保 幸男（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 新保幸男・小林理（2021）『児童家庭福祉』（中央法規出版）
- 2) 山縣文治・新保幸男（2022）『児童・家庭福祉』（全国社会福祉協議会）

### 2 学術論文

- 1) 小林理・新保幸男（2021）「社会的養護における人材育成の課題：A 県における児童相談所および社会的養護施設専門職の職場環境を中心として」日本社会福祉学会関東部会編『社会福祉学評論』第 22 号、52～64 頁
- 2) 新保幸男（2021）「福祉学に関する考察（1）」福祉学研究会編『福祉学』第 1 巻第 1 号、2～4 頁
- 3) 新保幸男（2021）「コロナ渦における子ども食堂に関する研究：自治体調査を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第 1 巻第 2 号、25～30 頁

### 3 その他の著作

- 1) 新保幸男（2021）『厚生労働科学研究（総括研究報告書）新型コロナウイルス感染症流行下における子ども食堂の運営実態とその効果の検証のための研究』（研究代表者、新保幸男）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会（代議員、査読委員）
- 2) 日本保健福祉学会（理事）
- 3) 日本子ども家庭福祉学会（監事、査読委員）
- 4) 日本キリスト教社会福祉学会（大会実行委員）
- 5) 神奈川県「子ども・子育て支援推進協議会」（会長）
- 6) 厚生労働省「社会保障審議会児童部会」（部会長代理）
- 7) 厚生労働省「社会保障審議会児童部会ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」（委員長代理）
- 8) 厚生労働省「ひとり親の就業支援に関する調査研究委員会」（委員）
- 9) 厚生労働省「ひとり親家庭等自立促進基盤事業評価委員会」（委員長）
- 10) 厚生労働省「はたらく母子家庭・父子家庭応援企業等の表彰審査委員会」（委員長）
- 11) 厚生労働省「養育費・面会交流相談支援センター事業に係る技術提案書評価委員会」（委員長）
- 12) 厚生労働省「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業審査委員会」（委員長）
- 13) 内閣府「子供の貧困対策に関する有識者会議」（副座長）
- 14) 内閣府「子供・若者育成支援のための有識者会議」（構成員）
- 15) 内閣府「子供の生活状況調査の分析に関する検討会」（委員）
- 16) 東京都「ひとり親家庭自立支援計画策定委員会」（副委員長）
- 17) 横浜市「就学奨励対策審議会」（委員）
- 18) 市原市「要保護児童保護施策審議会」（委員）

- 19) 市原市「子ども・若者の貧困対策」(アドバイザー)
- 20) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』(査読委員)
- 21) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会「苦情解決調整委員会」(委員)
- 22) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」(委員長)
- 23) 公益財団法人児童育成協会「事業譲渡審査委員会」(委員長)
- 24) 財団法人養育費相談支援センター「運営会議」(委員)
- 25) 社会福祉法人横須賀基督教社会館「評議員会」(評議員)

## 5 社会貢献

- 1) 出張講義「県立大学で社会福祉学を学ぼう」、神奈川県立横須賀南高校にて、高校1年生及び2年生、計350人に対してZoomで出張講義を行った。2022年3月15日。
- 2) オープンキャンパスで受験生などからの相談に応じた。
- 3) 神奈川県保育会との交流を持った。
- 4) 「ソフトバンク5Gコンソーシアム」(会員)として社会インフラについて関連業界の方々との交流を持った。
- 5) 「三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ」(会員)として未来共創について関連業界の方々との交流を持った。

## 6 講演, 放送

- 1) 講演「コロナ渦における子ども食堂」、2021年9月7日、第13回「広がれ、こども食堂の輪！推進会議」(COVID-19対応のためZoomで研修を行なった)
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講演「児童家庭福祉」(COVID-19対応のため録画での講演を行なった)
- 3) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて児童福祉司資格認定講習会講演「児童家庭福祉」(COVID-19対応のため録画での講演を行なった)
- 4) 東京都 社会的養護専門職スーパーバイザー研修において、「チームリーダーとスーパービジョン」の講師をつとめた。(COVID-19対応のためZoomで研修を行なった)
- 5) 東京都 社会的養護専門職基幹的職員研修において、「子どもの権利擁護」「日常的なケア」「アセスメント」「家族支援とソーシャルワーク」の講師をつとめた。(COVID-19対応のためZoomで研修を行なった)
- 6) 講演「子ども・若者の貧困問題の自分ごと化」、2021年11月29日、市原市役所幹部職員向けとして実施し、その後に意見交換の時間を持った。
- 7) 講演「養子縁組あっせんと研修」、2021年12月13日、厚生労働省「養子縁組民間あっせん機関職員研修」、(COVID-19対応のため録画での講演を行なった)。
- 8) 子ども食堂にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 9) コロナ渦における生活支援について、報道機関からの取材に応じた。
- 10) 特別養子縁組について、報道機関からの取材に応じた。
- 11) 子どもの貧困対策にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 12) その他福祉にかかわる事項について、報道機関からの取材依頼に応じた。

## 7 学会等での活動

- 1) 打越友実・小林理・新保幸男 (2022) 「1920 年代の自己決定概念に関する研究：バイステックとシュヴァイニッツの文献に着目して」『2021 年度日本社会福祉学会関東部会研究大会研究報告要旨集』、23 頁、オンライン、2022 年 3 月 13 日。
- 2) 小林理・打越友実・新保幸男 (2022) 「社会的養護における人材育成に関する研究：A 県における児童相談所および社会的養護施設専門職の研修環境を中心に」『2021 年度日本社会福祉学会関東部会研究大会研究報告要旨集』、24 頁オンライン、2022 年 3 月 13 日。
- 3) 新保幸男・小林理・赤木拓人・打越友実 (2022) 「社会的養護における研修に関する研究：『特別養子縁組養親研修』と『社会的養護専門職研修』との比較を中心として」『2021 年度日本社会福祉学会関東部会研究大会研究報告要旨集』、25 頁、オンライン、2022 年 3 月 13 日。
- 4) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 福祉学とは何か (1)」『福祉学研究会第 1 回学術集会要旨集』2 頁、2021 年 6 月 28 日。
- 5) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦と子どもの食：A 市におけるヒアリング調査を踏まえて」『福祉学研究会第 1 回学術集会要旨集』10 頁、2021 年 6 月 28 日。
- 6) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 新型コロナウイルス感染症流行下における子ども食堂の運営実態の把握とその効果の検証のための研究 (令和 2 年度厚生労働科学研究【特別研究】の成果と展望) 『福祉学研究会第 2 回学術集会要旨集』2~3 頁、2021 年 7 月 12 日。
- 7) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (1)：全国 1788 自治体への全数調査を踏まえて」『福祉学研究会第 2 回学術集会要旨集』12 頁、2021 年 7 月 21 日。
- 8) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 子ども・若者の貧困対策について基礎自治体の視点から考える (1)：ペリー就学前教育と認定子ども園」『福祉学研究会第 3 回学術集会要旨集』1~3 頁、2021 年 7 月 26 日。
- 9) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (2)：全国の子ども食堂への調査を踏まえて」『福祉学研究会第 3 回学術集会要旨集』11 頁、2021 年 7 月 26 日。
- 10) 新保幸男 (2021) 「子ども・若者の貧困対策について基礎自治体の視点から考える (2)：拠点としての『認定子ども園』と『中学校』」『福祉学研究会第 4 回学術集会要旨集』2 頁、2021 年 8 月 9 日。
- 11) 打越友実・小池祐紀・小林理・松下佑佳・新保幸男 (2021) 「(シンポジウムの座長) コロナ渦とソーシャルワーク実習」『福祉学研究会第 4 回学術集会要旨集』3 頁、2021 年 8 月 9 日。
- 12) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (3)：食支援団体へのヒアリング調査を踏まえて」『福祉学研究会第 4 回学術集会要旨集』14 頁、2021 年 8 月 9 日。
- 13) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 福祉学とは何か (2)」『福祉学研究会第 5 回学術集会要旨集』2~3 頁、2021 年 8 月 23 日。
- 14) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (4)：退職後を意識した子ども食堂運営」『福祉学研究会第 5 回学術集会要旨集』14~15 頁、2021 年 8 月 23 日。
- 15) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (1)」『福祉学研究会第 6 回学術集会要旨集』2~3 頁、2021 年 9 月 6 日。
- 16) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (5)：福祉避難所と多世代交流」『福祉

学研究会第6回学術集会要旨集』13～15頁、2021年9月6日。

- 17) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (2)」『福祉学研究会第7回学術集会要旨集』2頁、2021年9月13日。
- 18) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦におけるフードバンクの対応 (1): フードバンク山梨における実践」『福祉学研究会第7回学術集会要旨集』10～15頁、2021年9月13日。
- 19) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (3)」『福祉学研究会第8回学術集会要旨集』2頁、2021年9月27日。
- 20) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦におけるフードバンクの対応 (2): 東京都文京区で『こども宅食』を行うフローレンスの実践」『福祉学研究会第8回学術集会要旨集』14～19頁、2021年9月27日。
- 21) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (4): 認識論を中心として」『福祉学研究会9回学術集会要旨集』2～6頁、2021年10月11日。
- 22) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦におけるフードバンクの対応 (3): コロナ渦において行政主導で進められた奈良市のフードバンク事業」『福祉学研究会第9回学術集会要旨集』21～27頁、2021年10月11日。
- 23) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (5): 『児童相談所』と『児童の最善の利益』との関係」『福祉学研究会第10回学術集会要旨集』2頁、2021年10月25日。
- 24) 新保幸男 (2021) 「コロナ渦における子ども食堂 (6): 鳥取市における子ども食堂」『福祉学研究会第10回学術集会要旨集』15～17頁、2021年10月25日。
- 25) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (6): 貧困の連鎖を中心として」『福祉学研究会第11回学術集会要旨集』2～3頁、2021年11月15日。
- 26) 新保幸男 (2021) 「児童虐待死亡事例の研究 (1)」『福祉学研究会第11回学術集会要旨集』15～19頁、2021年11月15日。
- 27) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 児童福祉学とは何か (7): 子ども・若者の貧困問題の自分事化について」『福祉学研究会第12回学術集会要旨集』2～3頁、2021年11月22日。
- 28) 新保幸男 (2021) 「児童虐待死亡事例の研究 (2)」『福祉学研究会第12回学術集会要旨集』15～19頁、2021年11月22日。
- 29) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 養子縁組あっせん機関における研修のあり方」『福祉学研究会第13回学術集会要旨集』2～8頁、2021年12月13日。
- 30) 新保幸男 (2021) 「養子縁組を目指す養親を対象とする研修のあり方に関する研究」『福祉学研究会第13回学術集会要旨集』20～23頁、2021年12月13日。
- 31) 新保幸男 (2021) 「(基調講演) 子ども・若者の貧困問題を検討する視点」『福祉学研究会第14回学術集会要旨集』2～3頁、2021年12月27日。
- 32) 新保幸男 (2021) 「子どもの生活状況に関する研究 (1)」『福祉学研究会第14回学術集会要旨集』16～18頁、2021年12月27日。
- 33) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) ヒューマンサービスに関する考察 (1)」『福祉学研究会第15回学術集会要旨集』2～3頁、2022年1月10日。
- 34) 新保幸男 (2022) 「子どもの生活状況に関する研究 (2)」『福祉学研究会第15回学術集会要旨集』25～27頁、2022年1月10日。
- 35) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) ヒューマンサービスに関する考察 (2)」『福祉学研究会第16回学術集会要旨集』2～3頁、2022年1月24日。

- 36) 新保幸男 (2022) 「子どもの生活状況に関する研究 (3)」『福祉学研究会第 16 回学術集会要旨集』15～17 頁、2022 年 1 月 24 日。
- 37) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) ヒューマンサービスに関する考察 (3)」『福祉学研究会第 17 回学術集会要旨集』2～5 頁、2022 年 2 月 14 日。
- 38) 新保幸男 (2022) 「子どもの生活状況に関する研究 (5)」『福祉学研究会第 17 回学術集会要旨集』9～12 頁、2022 年 2 月 14 日。
- 39) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) ヒューマンサービスに関する考察 (4)」『福祉学研究会第 18 回学術集会要旨集』2～3 頁、2022 年 2 月 28 日。
- 40) 新保幸男・小林理・赤木拓人・打越友実 (2022) 「社会的養護専門職研修についての検討 (1)」『福祉学研究会第 18 回学術集会要旨集』6～8 頁、2022 年 2 月 28 日。
- 41) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 県立大学で社会福祉学を学ぼう」『福祉学研究会第 19 回学術集会要旨集』2～3 頁、2022 年 3 月 14 日。
- 42) 新保幸男 (2022) 「『特別養子縁組養親研修』についての考察」『福祉学研究会第 19 回学術集会要旨集』14～15 頁、2022 年 3 月 14 日。
- 43) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 2022 年児童福祉法改正案の概要について」『福祉学研究会第 20 回学術集会要旨集』2～3 頁、2022 年 3 月 28 日。
- 44) 新保幸男 (2022) 「サラ・コーファックス事例の検討 (1)」『福祉学研究会第 20 回学術集会要旨集』15～19 頁、2022 年 3 月 28 日。

## 8 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の研究指導を担当した。
- 2) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文研究計画発表会において指導教授として司会をつとめた。
- 3) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文研究計画審査会の副査をつとめた。
- 4) 大学院博士後期課程「児童福祉学特論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 5) 大学院博士後期課程「児童福祉学演習」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 6) 大学院博士前期課程の大学院生 1 名の研究指導を担当した。
- 7) 大学院博士前期課程「社会福祉原論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 8) 大学院博士前期課程「社会福祉調査研究方法論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 9) 学部 4 年次「社会福祉専門演習Ⅱ」において 3 名のゼミ生への指導を行った。
- 10) 学部 3 年次「社会福祉専門演習Ⅰ」において 5 名のゼミ生への指導を行った。
- 11) 学部 4 年次の象徴科目「ヒューマンサービス論Ⅱ」の授業 8 回のうち 7 回を担当した。
- 12) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指Ⅱ」において 6 名の学生を担当した。
- 13) 学部 2 年次の必修科目「児童福祉論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 14) 学部 1 年次の必修科目「保健医療福祉論Ⅰ」において、グループ指導を担当した。

- 15) 学科で実施している社会福祉士国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。

9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科人事小委員会（委員）
- 2) 社会福祉学科ソーシャルワーク実習担当者会議（委員）
- 3) 図書委員会（委員）
- 4) 自己評価専門部会（委員）
- 5) ヒューマンサービス研究会に「ヒューマンサービスⅡ」担当者として出席した。
- 6) LGBT等の学生・教職員への支援体制検討ワーキング（委員）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 厚生労働科学研究『食への支援が必要な子どもがいる家庭へ支援を届けるための官民連携の際の情報共有の過程を明らかにする質的研究』の研究協力者。（研究代表者、森崎奈穂国立成育医療研究センター社会医学研究部長）

11 学内研究助成金の受託

- 1) 地域貢献研究センター研究事業『新型コロナウイルス渦における子ども食堂に関する研究』（研究代表者、新保幸男）



## 玉川 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市児童福祉審議会委員（子ども育成分科会会長）. 2020.4～
- 2) 社会福祉振興・試験センター介護支援専門員実務研修受講試験委員会委員（幹事委員）. 2020.4～
- 3) 日本看護協会看護師の生涯学習支援体制の構築に関する検討委員会委員. 2021.6～

### 7 学会等での活動

- 1) 玉川淳「介護保険事業計画による統制について」東京社会保障法研究会・研究報告（オンライン）2021年10月16日

### 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目「人権・ジェンダー」「地域保健医療福祉連携論」「ヒューマンサービス総合演習」「保健福祉行政論」「福祉行財政と福祉計画」（分担）「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「卒業研究」
- 2) 大学院担当科目「ヒューマンサービス特論・演習」「人事管理・育成論」「保健福祉政策特論」（分担）
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座において「福祉行財政」を担当

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 人権・倫理委員会
- 2) ヒューマンサービス委員会
- 3) チューター

## 中村 美安子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 中村美安子. (2021). 第3章 地域共生社会における安心確保の検討—ホームヘルプ代替充足から「生活見守り・相談」再構築へ. 地域共生社会と社会福祉. 47-61. 京都: 法律文化社

### 2 学術論文

- 1) 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. (2022). 成年後見人が管理する空き家の活用可能性と条件—空き家活用による住民福祉活動拠点の確保に関する研究, 日本建築学会技術報告集, 28 (68). 397-401

### 3 その他の著作

- 1) 中村美安子. (2021). 『やってみた』が広がること. 市町村民児協発活動研究ノート NO.146 活動を読み解くヒント・ポイント. 神奈川県民児協だより第146号. 神奈川県民生委員児童委員協議会. 3. 2021.9
- 2) 中村美安子. (2021). シニア世代の社会参加の意義と民生委員児童委員活動. 民生委員・児童委員ひろば11月号. 2-3. 全国民生委員児童委員連合会. 2021.11
- 3) 中村美安子. (2022). 地域共生社会に関する民児協活動事例集. 第1章「地域共生社会とは」. 6-9. 全国民生委員・児童委員連合会 (全国社会福祉協議会) 2022.3
- 4) 中村美安子. (2022). 地域共生社会に関する民児協活動事例集. 事例へのコメント. 第3章「取り組み事例」. 34-51. 全国民生委員児童委員連合会 (全国社会福祉協議会) 2022.3
- 5) 中村美安子. (2022). 委員メッセージ. 『神奈川県版活動強化方策』. 27. 神奈川県民生委員児童委員協議会. 2022.3
- 6) 中村美安子. (2022). 災害から学ぶ災害に備える—民生委員・児童委員における支援. 月刊福祉. 第105巻第4号. 92-94. 全国社会福祉協議会出版部. 2022.3

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局. 社会福祉推進事業評価委員会委員. 2011.9～
- 2) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議副委員長. 2013.7.～
- 3) 横浜市. 介護保険運営協議会委員. 2018.8～
- 4) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議小委員会副委員長. 2022.3～
- 5) 横浜市. よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営選定等委員会委員. 2021.6～
- 6) 川崎市. 民生委員児童委員活動の環境整備に向けた取組検討会アドバイザー. 2021. 6～2022.3
- 7) 全国民生委員児童委員連合会. 地域福祉推進部会委員. 2011.5～
- 8) 全国民生委員児童委員連合会. 地域共生社会に関する民児協活動事例集作成作業委員会委員. 2021.8～
- 9) 全国民生委員児童委員連合会. 市区町村民生委員児童委員協議会・法定単位民生委員児童委員協議会活動実態調査準備委員会委員. 2022.3～
- 10) (福)横須賀市社会福祉協議会. 日常生活自立支援事業審査会委員. 2013.4～

- 11) (福) 横須賀市社会福祉協議会. よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員. 2019.4～
- 12) (福) 大和市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画推進委員会委員. 2013.9～
- 13) (福) 狛江市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画策定委員会副委員長. 2016.6.～
- 14) (福) 狛江市社会福祉協議会. コミュニティサーシャルワークアドバイザー. 2018.4～
- 15) (福) 横浜市福祉サービス協会. 理事 2019.6～
- 16) (福) 神奈川県民生委員児童委員協議会. 総合企画委員会委員. 2020.11～

## 6 講演, 放送

- 1) 川崎市民生委員児童委員協議会. 地区民児協三役研修会のパネルディスカッションの総評. 2022.3.

## 8 学内教育活動

- 1) 令和2年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」の国試対策資料作成及び講師

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会 委員長 2021.4～

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究代表者. 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. 住民福祉活動拠点の確保における空き家活用方策に関する研究. 平成31年度～令和4年度. 338万円. 2019.4～2023.3.
- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究協力者. 藤岡泰寛, 大原一興, 田中 稲子, 野原 卓. 異世代シェア型地域居住モデル構築を通じた郊外住宅地の介護予防力向上に関する研究. 平成31年度～令和4年度. 500万円. 2019.4～2023.3.

## 14 その他

- 1) 神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科監修『地域共生社会と社会福祉』(法律文化社)出版において監修委員

## 西村 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 西村淳(2021)「高齢者の人権」「疾病・患者と人権」江原由美子監修・神奈川人権センター編『21世紀の人権』日本評論社
- 2) 西村淳(2021)「地域共生社会における地域福祉法制」神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科監修・西村淳編集代表『地域共生社会と社会福祉』法律文化社
- 3) 西村淳(2021)「社会福祉の歴史と動向」「社会福祉の諸制度と施策」西村淳編『社会福祉（健康支援と社会保障制度③新体系・看護学全書・第14版）』メジカルフレンド社
- 4) 西村淳(2022)「社会保障の法理念と規範理論——ケアの倫理との関係を中心に」角松生史・山本顯治・小田中直樹・窪田亜矢編『縮小社会における法的空間—ケアと包摂』日本評論社
- 5) 西村淳(2022)「諸外国における社会保障制度の概要」社会福祉学習双書編集委員会編『社会福祉学習双書 2022 第6巻・社会保障論』全国社会福祉協議会

### 2 学術論文

- 1) 西村淳(2021)「新しい働き方と年金」『年金と経済』Vol.40 No.2、3-9.
- 2) 西村淳(2021)「公的年金制度の課題と将来」『週刊社会保障』No.3132、148-151.
- 3) 西村淳(2022)「地域共生社会におけるソーシャルワークと法（飯島淳子・井手英策・菊池馨実・西村淳・山本龍彦・笠木映里による座談会）」『法律時報』Vol.94 No.1、7-30.

### 3 その他の著作

- 1) 西村淳「感染症と人権」『厚生指標』2021年7月号
- 2) 西村淳「オンラインで世の中は変わったか？」『厚生指標』2021年11月号
- 3) 西村淳「子育て支援と少子化対策」『厚生指標』2022年3月号

### 4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会理事（通年）
- 2) 日本年金学会幹事（10月まで）
- 3) 横浜市国民健康保険運営協議会委員（会長、通年）
- 4) 横須賀市人権施策推進会議委員（委員長、通年）
- 5) 横須賀市社会福祉審議会委員（高齢福祉専門分科会長、通年）
- 6) 社会福祉士および精神保健福祉士試験委員（通年）
- 7) 『年金と経済』編集委員（通年）
- 8) 北海道大学公共政策学研究センター研究員（通年）

### 5 社会貢献

- 1) 横須賀市鶴が丘地区「人社プロジェクト」に協力
- 2) 出前講義「社会福祉を学ぶ」神奈川県立生田東高校、2022年3月

## 6 講演、放送

- 1) 「地域福祉の実際・歴史・理念」北海道大学公共政策大学院、2021年11月
- 2) 「地域包括ケアシステムと地域支援事業の理解」横須賀市市民大学・認知症にやさしいまちづくり講座、横須賀市生涯学習財団、2021年12月
- 3) 「ヒューマンサービスとSDGs—その理念と地域づくり」2021年度ヒューマンサービス公開講座（秋期）、2021年12月

## 7 学会等での活動

- 1) 「労働の変容に対応した年金制度の課題」日本年金学会第41回大会、2021年12月

## 8 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当：「保健医療福祉論Ⅱ」「社会福祉の法と制度」「法と人間」「福祉の哲学」「権利擁護と成年後見制度」
- 2) 学部の演習担当：「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」
- 3) 卒業研究指導（学部）9名
- 4) 大学院保健福祉学研究科の講義担当：「保健福祉行政特論」「多職種連携システム開発演習」
- 5) 実践教育センター：教員・教育担当者養成課程・介護コース「保健医療福祉論」
- 6) 博士前期課程2名・博士後期課程1名の論文指導教員

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉研究科運営会議委員
- 2) 大学院保健福祉研究科入試委員（委員長）

## 10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 科研費補助金（基盤研究C）「地域福祉の法的権利構造の解明に関する研究—市民参加支援としての社会福祉の観点から」（研究代表者）
- 2) 科研費補助金（基盤研究B）「地域の再生を通じた持続可能な社会保障制度の再構築」（分担研究者）
- 3) 三菱UFJ信託奨学財団研究助成金「高齢者の経済的課題を支える保護と意思決定支援」（分担研究者）

## 山本 恵子 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 山本恵子,西村淳他. (2021 年).「介護保険制度 20 年目の検証 一準市場の視点から再考する」.西村淳編『地域共生社会と社会福祉』.6 章 98-106.法律文化社.

### 2 学術論文

- 1) 山本恵子,山本隆. (2021 年). 共著「「英国の福祉の市場化 一ここまで市場化は進んだ」.『賃金と社会保障』No.1788.旬報社.4-16.
- 2) 山本恵子.(2022 年).「協同セクターの概念整理と課題の抽出」.『ローカル・ガバナンス研究 創刊号 (ISSN 2758-0660)』.ローカル・ガバナンス研究所.3-17.

### 5 社会貢献

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長、葉山町地域包括支援センター運営協議会会長を務めた。
- 2) 横須賀市老人福祉センター等指定管理者選考委員会委員長を務めた。

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員を担当した。

### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究助成金(基盤研究 C)「都市における低所得高齢者のための包摂型地域包括ケアのプログラム開発」研究代表者  
令和 3 年度～令和 6 年度 221 万円

## 行實 志都子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科監修. (2021). 地域共生社会と社会福祉. 法利率文化社 (p 170-181)

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

#### 【学会】

- 1) 日本リハビリテーション連携科学学会 理事 2020.4～

#### 【協会】

- 1) 一般社団法人 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～  
神奈川県精神保健福祉士協会において、副会長を務める
- 2) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 理事 精神保健福祉士協会の全国を統括している本部の理事である 2020.6～

#### 【公的団体】

- 1) 埼玉県ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 埼玉県ふじみ野市が主催する精神障害者支援に関係する機関や家族、学識経験者が集まり、ふじみ野市の精神障害者への支援を検討する. 2008.4.1～
- 2) 埼玉県三芳町自立支援協議会 会長 埼玉県三芳町の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める. 2010.4.1～
- 3) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 川崎市の障害者総合支援法における自立支援協議会の会長を務める. 2016.4.1～
- 4) 横浜市精神医療審査会 予備委員 横浜市の住民が精神科病院への入院に対する不服申し立て、病院からの対応等について調査並びに審査を行う 2018. 4～
- 5) 川崎市指定管理者選定委員会 委員 川崎市障害福祉に関する施設の指定管理選考を行う 2018. 4～
- 6) 川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞選考委員会 委員 川崎市における文化の向上、市民生活、スポーツの分野において発展に貢献した人への表彰に対する選考 委員 2019.4～
- 7) 川崎市第5次かわさきノーマライゼーション策定委員会 委員 川崎市の障害者福祉計画を策定する 2020.4～2021.12
- 8) 渋谷区医療的ケア児支援関係機関協議会 会長 渋谷区の医療的ケア児に対する支援を検討する 2021.1～

#### 【福祉法人等】

- 1) 社会福祉法人結の会オフィスクローバー 理事 新宿区にある就労継続支援 B 型を実施する社会福祉法人であり、その会の理事を務める. 2013.1.1～
- 2) かながわ福祉サービス運営適正委員会 委員 神奈川県社会福祉協議会が主催する神奈川県内の福祉サービスが適正に実施できているか評価する 2016. 4～
- 3) かながわ福祉サービス苦情解決委員会 委員 神奈川県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会の中にある委員会である 2016.4～
- 4) 精神保健福祉士国家試験委員 2020.4～

## 5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 夏のオープンキャンパスとミニオープンキャンパスを担当する
- 2) 高等学校の生徒に対する学内ツアー
- 3) 大学説明会に出席 (5/13 県立立野高校, 12/8 県立川崎高校 3/18 私立川崎高校)
- 4) 神奈川県精神保健福祉士協会 三浦・横須賀支部を担当理事として運営し、三浦・横須賀地域の精神保健福祉士の連携を図る

## 6 講演, 放送

- 1) 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 演習担当教員講習会 研修新カリキュラムに伴う社会福祉士・精神保健福祉士演習担当教員へ研修を行う 2021.8 開催
- 2) 神奈川県精神医療センター主催ゲートキーパー研修 講師 自殺自殺対策についての講義 2021.9 開催
- 3) かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク主催 神奈川県委託事業「障害者相談支援従事者研修 主任者研修 講師」2021.9
- 4) 川崎市中部地域生活支援センターはるかぜ主催 ピアサポート研修 講師 2021.10
- 5) 横浜市自殺対策研修 (ベーシック研修・アドバンス研修) 2022.1
- 6) 神奈川県社会福祉協議会主催, かながわライフサポート事業コミュニティソーシャルワーカーの養成研修 講師 2021.2
- 7) 小田原市主催, 小田原市精神障がい者ピアサポート事業研修会 講師, 2021.3

## 7 学会等での活動

### 【学会発表】

- 1) 湯沢 由美, 行實 志都子, 八重田 淳, Comprehensive Relative Autonomy Index 日本語版 (C-RAI-J) : 精神科デイケアにおけるパイロット・スタディ, 第 23 回日本リハビリテーション連携科学学会 ポスター発表
- 2) 川口真美, 行實志都子, K 市基幹相談支援センターの人材育成の取り組み : 相談 Café に対するプレ調査から, 第 23 回日本リハビリテーション連携科学学会 ポスター発表

## 8 学内教育活動

- 1) 精神保健福祉士養成課程コース、コース長
- 2) 「社会福祉専門演習 I・II」(3年生、4年生のゼミ活動である。2021年度は、『イライラ・ムカムカ・もやもや そんな時に試してみよう!』というタイトルのビデオ制作し大学のホームページにアップする)
- 3) 大学院前期課程での指導

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2021.4~
- 2) オープンキャンパス委員 2018.4~



## 在原理恵（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 在原理恵（2021）「重度知的障害者等の自律的な地域生活の拡充を目指して」西村淳 編『地域共生社会と社会福祉』法律文化社，158 - 169.

### 2 学術論文

- 1) 小野達也・在原理恵（2022）「重症心身障害者の生活支援における共同決定への相談支援専門員の携わり方」『神奈川県立保健福祉大学誌』 19(1), 81 - 93

### 3 その他の著作

- 1) 荒井隆一・在原理恵・久保洋・ほか（2021）『新型コロナウイルスに関するアンケート結果報告書』障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
- 2) 在原理恵（2021）「一緒に生きようとする関係性を創り出していくために」『季刊グループホーム』70, 6-7.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員（2010.6～）
- 2) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長（2014.4～）
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 委員長（2018.4～）
- 4) 神奈川県障害者施策審議会委員（2016.6～）
- 5) 神奈川県障害者介護給付費等不服審査会 会長（2019.4～）

### 5 社会貢献

- 1) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 令和 3 年度 評価調査者認定研修，講師（2021.5.24, 2021.7.9）
- 2) 障害者グループホーム第三者評価 評価調査者フォローアップ研修会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2021.8.24）
- 3) 県立二俣川看護福祉高等学校進路説明会（2021.12.14）
- 4) 三浦学苑高等学校 2 学年進学説明会（2022.3.15）

### 8 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座担当科目「社会調査の基礎」

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員
- 2) 自己評価専門部会委員

## 石井 忍（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003. 4～
- 2) 横浜市西区野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015. 4～
- 3) 横浜市西区地域ケアプラザ指定管理者選考委員会 委員長 2019. 12～

### 5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台 第三者委員. 2010. 4～
- 2) 社会福祉法人 きしろ社会事業会評議員 2017. 4～

### 7 学会等での活動

- 1) 日本介護福祉士会，専門誌「介護福祉士」論文査読委員. 2020. 10～

### 8 学内教育活動

- 1) 介護福祉実習を学内実習として行ったため，実習先施設と協力し，支援に関する資料映像を何パターンも作成
- 2) 介護過程Ⅰの事例作成のための事前情報を高齢者施設に協力を依頼し共同製作

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 地域貢献研究センター国際協働部門  
部門長として活動のとりまとめイベントの調整役を行う.
- 2) 進路支援ワーキンググループ  
学生が情報不足にならないよう情報を絶えず発信し，個別相談にも応じる.

### 11 学内研究助成金などの受託

- 1) 「ウィズコロナの社会における保健・医療・福祉のあり方に関する総合的研究」報告書，学長特別プロジェクト 2022. 3

## 大島 憲子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 大島憲子（2021）「第7章 認知症の人の『共生』『予防』『備え』を基盤とする地域づくり」西村 淳編著『地域共生社会と社会福祉』法律文化社，109-123.

### 2 学術論文

- 1) 城川 美佳,金 龍哲,杉山 みち子,大島 憲子,小河原 格, 生田 倫子（2020）『大学生の地域貢献活動への参加状況と支援 ニーズ』神奈川県立保健福祉大学大学誌 2020 ; 17(1).
- 2) 西村 淳,中村 美安子,大島 憲子,吉中 季子,中越 章乃（2020）社会福祉専門職の専門性に関する意識 一卒業生調査 の結果から一神奈川県立保健福祉大学大学誌 2020 ; 17(1).

### 3 その他の著作

- 1) コロナ禍における介護実習への対応と協働：本学を取り巻く関係機関との取り組み報告（特集 新型コロナウイルス感染拡大下における介護実習の現状と課題）（2021）（今,介護福祉士養成施設にできること）野田 由佳里, 植田 裕太朗, 井川 淳史, 秋山 恵美子, 横尾 恵美子, 宮田 信朗, 井上 理絵, 山根 淳子, 秋山 陽子, 松田 愛美, 石井 忍, 大島 憲子, 新口 春美, 伊藤 友香, 益田 八千代介護福祉教育 25(1) 21-32.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

#### 【公的団体の委員】

- 1) 神奈川県薬事審議会 委員（2021.6.1～2023.5.31）
- 2) 神奈川県社会福祉審議会 委員（2018.8～現在）
- 3) 神奈川県民生委員審査専門分科会 分科会長（2018.11～現在）
- 4) 神奈川県大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議会 委員（2019.6～現在）
- 5) かながわ感動介護大賞実行委員会 委員（2018.7～現在）
- 6) かながわ感動介護大賞選考委員会 座長（2018.7～現在）
- 7) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会 委員（2015.9～現在）
- 8) 神奈川県介護予防市町村支援委員会 委員（2015.9～現在）
- 9) 神奈川県在宅医療推進協議会 委員（2015.2～現在）
- 10) 神奈川県地域包括ケア会議 委員（2015.2～現在）同、副委員長（2015.4～現在）
- 11) 横須賀市介護保険運営協議会委員（2014.9～現在）

#### 【学会】

- 1) 日本認知症ケア学会 評議員（現, 代議員）（2006～現在）
- 2) 「日本の認知症ケア学会誌」査読委員（2006～現在）
- 3) 「認知症ケアジャーナル」査読委員（2008～現在）
- 4) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員（2006～現在）
- 5) 認知症ケア専門士試験問題作成委員（2006～現在）

8 学内教育活動

- 1) 大学院生の受け入れ
- 2) サークル活動の支援状況：茶道サークルの顧問として、学生の練習場所の確保や相談への対応

9 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会委員

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金（基盤研究C）  
「行動・心理症状（BPSD）に対する症候対応型認知症ケア技術の開発」 研究代表者、  
研究経費：4,160 千円（平成 30 年度～令和 4 年度）

## 川久保 寛（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市社会福祉協議会・よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員（2013年10月1日から2021年8月まで。2015年6月2日から副委員長）
- 2) 日本社会保障法学会・編集委員（2016年12月から現在まで）
- 3) 横須賀市・障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会委員（2019年4月から2021年8月まで）
- 4) ソーシャルワーク教育学校連盟・国家試験合格支援委員（2020年4月から現在まで）

### 5 社会貢献

- 1) 横須賀市大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員（2016年11月から2021年8月まで）

### 6 講演，放送

- 1) 川久保寛「実習マネジメント論」社会福祉士実習指導者講習会（於神奈川県立保健福祉大学）2021年6月12日。
- 2) 川久保寛「社会福祉士の仕事と社会福祉学科の特色」神奈川県立保健福祉大学高校生向け説明会（zoom）2021年7月3日。
- 3) 川久保寛「社会保障論」神奈川県ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修・講義（於神奈川県立総合教育センター）2021年7月29日。

### 7 学会等での活動

- 1) 川久保寛「判例紹介・同性の犯罪被害者と交際し共同生活を営む者が犯給法の給付対象者にならないとされた事例・名古屋地判令和2年6月4日」東京社会保障法研究会・研究報告（zoom）2021年4月16日。

### 8 学内教育活動

- 1) （学部）社会保障論、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、社会福祉基礎演習Ⅱ、社会福祉専門演習Ⅱ
- 2) （大学院）社会保障特論
- 3) （社会福祉士国家試験対策）模擬試験

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 国家試験連絡担当（2015年4月から2021年8月まで）

### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 川久保寛「高齢者への相談支援の法と実務－ドイツを参照した実証論的研究－」若手研究代表者、2020年4月から2023年3月まで、1,000,000円。
- 2) 川久保寛「高齢者の障壁と法－実務と研究から探る高齢者法の展開」基盤B（研究代表・関ふ佐子横浜国立大学教授）研究分担者、2021年4月から2025年3月まで、

100,000 円。

- 3) 川久保寛「パンデミック下での高齢者の保護と年齢差別」国際共同研究強化 B（研究代表・関ふ佐子横浜国立大学教授）研究分担者、2020 年 10 月から 2024 年 3 月まで、50,000 円。
- 4) 川久保寛「地域の再生を通じた持続可能な社会保障制度の再構築」基盤 B（研究代表・菊池馨実早稲田大学法学学術院教授）研究分担者、2019 年 4 月から 2022 年 3 月まで、140,000 円。

## 川村 隆彦 (大学院研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 川村隆彦 (2021) 『ソーシャルワーカーが葛藤を乗り越える 10 のエッセンス』 中央法規出版.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員 (2006. 1～)
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員 (2013. 10～)
- 3) 逗子市地域包括ケア会議委員 (2018. 4～)

### 5 社会貢献

- 1) 以下の地域の専門職への研修、スキルトレーニングを行う。東京都特別区 (児童相談所職員/10月13日、12月13日) 東京都保健福祉財団 (ケアマネジャー、社会福祉士/10月27日) 名古屋市成年後見あんしんセンター (後見人/2月18日) 東京都社会福祉士会認定社会福祉士研修 (2月23日) 兵庫県社会福祉士会但馬ブロック学習会 (3月5日) 北海道社会福祉士会研究研修会 (3月5日)

### 8 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワーク I」「ソーシャルワーク II」「ソーシャルワーク演習 I」「ソーシャルワーク演習 II」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導 I・II」「社会福祉専門演習 I・II」「卒業論文」を担当した
- 2) 大学院において、ソーシャルワーク特論を担当した。

### 9 学内各種委員会活動

- 1) FDSO 委員会委員長 (2019. 4～)

## 吉中 季子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 神奈川県立保健福祉大学監修（西村淳編集代表）『地域共生社会と社会福祉』法律文化社、2021年「第9章「女性の居住喪失と生活困窮者自立支援制度——一時生活支援事業の有効性と課題」法律文化社、pp.138-155

### 2 学術論文

- 1) 吉中季子「ひとり親世帯の生活実態と課題—コロナかが浮き彫りにしたもの」一般財団法人ゆうちょ財団『季刊 個人金融』2022年2月冬号 Vol.16, No.4 pp.31-40
- 2) 吉中季子「女性の貧困—シングルマザーの年金加入と高齢期」公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構『年金と経済』2021.10月号, Vol.40, No.3, pp.35-41

### 3 その他の著作

- 1) 吉中季子「女性からみた年金—制度の背景と加入の実態」『PAL 联合会だより』地方公務員共済組合連合会 令和3年度特集号, 2022年3月号 pp.1-36
- 2) ソーシャルワーク教育学校連盟 編『社会福祉士国家試験過去問解説集 2021』中央法規, 2021年5月, 「低所得者に対する支援と生活保護制度」 pp.83-84
- 3) 西村淳編『新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度③社会福祉』(第14版), 2021年, メヂカルフレンド社 pp.1-27

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 貧困研究会（学会） 運営委員会委員（2017年3月～現在）  
事務局委員（2018年3月～現在）  
研究助成委員（2019年3月～現在）
- 2) 日本がん看護学会 倫理委員会委員（外部委員・文化社会科学系）（2018年～現在）

### 5 社会貢献

- 1) 神奈川県かながわ子ども支援会議 副委員長（2018年7月～現在）
- 2) 三浦市男女共同参画懇談会 座長（神奈川県三浦市）（2019年1月～現在）
- 3) 葉山町民生委員推薦会委員（神奈川県葉山町）（2016年11月～現在）
- 4) Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成 選考審査委員（2018年7月～現在）
- 5) 特定非営利活動法人 女性サポートAsyl（あじーる）（生活困窮者支援）理事長
- 6) 神奈川県自治体問題研究所 理事（2022年3月～現在）

### 6 講演, 放送

- 1) 神奈川県かながわ子どものみらい応援団（神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部 次世代育成課主催）【子どもにひろがる見えない貧困（県ホームページ）  
2022年1月31日より掲載】  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza\\_yoshina](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza_yoshina)



ka.html

- 2) 横須賀市教育委員会・(公財)横須賀市生涯学習財団主催 令和3年度人権セミナー「感染症の流行下での人権問題～過去に起きたこと・現在 起きていること」講師テーマ:「ドメスティックバイオレンスについて考えようーコロナ禍の背景にあるもの」2021年12月10日 於:横須賀市生涯学習センター
- 3) 地方公務員共済組合連合会・地方公務員共済組合協議会 共催 「令和3年度 年金・社会保障制度研究セミナー」講師  
テーマ:女性からみた年金一制度の背景と加入の実態 2021年10月26日  
WEB開催(講演スタジオ(株)ブレーション 於:東京都千代田区)

## 7 学会等での活動

- 1) 名古屋大学 ジェンダー・リサーチ・ライブラリシンポジウム「Life-history から考えるジェンダー不利の蓄積性」報告テーマ「シングルマザーと公的年金:加入実態から見えてくること」/ZOOM 2021年10月2日

## 8 学内教育活動

- 1) 学部授業科目:公的扶助論、現代社会と福祉、社会福祉の歴史と現代社会(オムニバス科目・科目担当)、ソーシャルワーク実習指導、人権とジェンダー(オムニバス担当)、専門演習I・II、卒業研究
- 2) 大学院授業科目:低所得者福祉特論
- 3) 社会福祉士国家試験対策にて、「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当。

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会
- 2) 公立大学協会・社会福祉学系部会 担当
- 3) ソーシャルワーク教育連盟 担当

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) (研究代表) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 18K02152 「単身女性の公的年金制度と貧困に関する研究」 2018-2022 年度(研究代表者 神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・准教授・吉中季子)
- 2) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 20K02264 「日本における皆年金体制確立に関する歴史及び財政の検証」 2020-2023 年度(研究代表者 愛知県立大学・教育福祉学部・准教授・中尾友紀)
- 3) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号 20H04446 「世帯内に隠れた貧困の実証的把握:貧困研究の方法の再検討」 2020-2023 年度(研究代表者 北海道大学大学院・教育学研究院・准教授・鳥山まどか)
- 4) (研究分担) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)21H04404「子ども・子育て家族の貧困と政策・実践:「包括的最低限保障」の構想のために」2021-2025 年度(研究代表者 北海道大学・教育学研究院・教授・松本伊智朗),
- 5) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号課題番号 21H00796 「日本に住

2021.4.1～2022.3.31

神奈川県立保健福祉大学 教育研究活動報告書

「む外国人に対する金融包摂の方策」2021-2024年度 研究代表者（明治大学・経営学部・教授 小関隆志）

## 岸川 学（大学院研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 岸川学. (2021) 障害のある人への社会福祉実践と地域共生 一 個別支援と地域支援の統合をめざして, 神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科監修/西村淳編集代表「地域共生社会と社会福祉」法律文化社.
- 2) 岸川学. (2021) 電車を愉しむ, 支援編集委員会「支援 Vol.11」生活書院.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問 委員. 2011.5～
- 2) 全国アダプテッドエアロビック専門部会医科学委員会 委員. 2011.5～
- 3) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員長. 2011.8～
- 4) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会 委員. 2012.9～
- 5) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議 委員. 2013.4～
- 6) 横須賀市障害とくらしの支援協議会くらしを支える連絡会 会長. 2013.4～
- 7) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者支援協議会 会長. 2016.4～
- 8) 社会福祉法人みなと舎 評議員. 2017.6～
- 9) 横須賀学院高等学校科学教育センター 運営指導委員. 2018.4～
- 10) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」 運営委員. 2018.12～
- 11) 神奈川県発達障害サポートネットワーク推進協議会 部会長. 2019.12～
- 12) 一般社団法人全日本自閉症支援者協会 強度行動障害者支援に関する中核的な人材の養成に関する研究 (ワーキング) モデル研修企画・実施と評価 委員. 2022.4～
- 13) 日本キリスト教社会福祉学会 理事. 2021.6～
- 14) 横須賀市福祉援護センターのあり方に関する懇話会 座長. 2021.7～

### 5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人いちょうの里みずほ学園・自閉症者支援のコンサルテーション. 2011.12～
- 2) 社会福祉法人横須賀基督教社会館・自閉症児支援のコンサルテーション. 2017.12～
- 3) 社会福祉法人県央福祉会三浦創生舎・自閉症者支援のコンサルテーション. 2018.9～
- 4) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」の運営. 2018.12～
- 5) 神奈川県相談支援体制充実強化事業事例検討会における専門的コンサルテーション. 2019.7～
- 6) 社会福祉法人海風会いちばん星における自閉症者支援のコンサルテーション. 2020.10～
- 7) 神奈川県立霧が丘高等学校における模擬授業. 2021.7.15
- 8) 神奈川県ソーシャルワーク視点の教員養成研修の企画・運営. 2021.4～
- 9) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会地域福祉活動支援事業 (協働モデル事業) アドバイザー. 2021.5～
- 10) 横須賀市障害者基幹相談支援センター専門的コンサルテーション. 2021.10～
- 11) 神奈川県立瀬谷西高等学校における模擬授業. 2021.11.26
- 12) 神奈川県立川崎高等学校における模擬授業. 2022.3.16
- 13) 神奈川県地域共生社会実現フォーラム H.S.C サークル参加支援. 2021.12.11

- 14) 一般社団法人全日本自閉症支援者協会 強度行動障害者支援に関する中核的な人材の養成に関するモデル研修におけるファシリテーター. 2021.12～2022.2
- 15) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会地域福祉活動支援事業(協働モデル事業)「ワークショップ」の講師・ファシリテーター. 2022.1.30, 2022.2.7, 2022.2.11
- 16) 神奈川県・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会主催 令和3年度重層的支援体制構築支援事業 包括支援体制構築・重層的支援体制整備事業担当者研修会(課題別研修)グループワークによる事例検討の講師. 2022.3.3

## 6 講演, 放送

- 1) 発表:「谷戸地区で暮らす住民の健康増進に向けた支援の検討ー第1報ー」2021年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会, 2021.8.23
- 2) 講演:「福祉の現場で考えてきたこと-人と社会の幸せを一緒に考える仲間を探しています-」横須賀学院科学教育センター主催横須賀学院セミナリオ. 2021.6.10
- 3) 講演:「発達障害の理解と対応」令和3年度ソーシャルワークの視点を持った教員養成研修, 2021.7.30
- 4) 講演:「支援とは何か」「専門性とは何か」「良い支援者を目指して」, 令和3年度新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会, 神奈川県・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会, 2021.8.20, 2021.11.11, 2021.12.9
- 5) 講演:「切れ目のない支援ー教育と福祉の連携ー」, 育ちと支援をつなぐ研修会, 横須賀市教育委員会, 2021.8.25
- 6) 講演:「支援者が感じる困難さと上手に向き合うために」令和3年度金沢区障害者地域自立支援協議会支援担当者スキルアップ研修. 2021.10.15
- 7) 講演:「生きるということー自閉症の人たちとの歩みから考えたことー」玉川聖学院高等部高1向け講演会. 2021.10.27
- 8) 講演:「障害のある人への虐待を防ぐためにー支援とは何かを考えるー」, 社会福祉法人黎明会横須賀ホームレット職員研修会, 2021.11.8
- 9) 講演:「障害のある子どもの理解と受入れ」令和3年度逗子市放課後児童クラブ指導員研修, 2021.11.10
- 10) 講演:「発達障害の理解と対応」神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター令和3年度養育支援講演会, 2021.12.3
- 11) 講演:「障害のある子どもの理解と生活作りー受入れから保護者理解までー」神奈川県学童保育連絡協議会第45回神奈川県学童保育研究集会第5分科会, 2022.2.13
- 12) 講演:「福祉職のアイデンティティ エンパワメント」横須賀市一般事務(福祉)職向け研修会. 2022.2.14
- 13) 講演:「精神障害や発達障害、知的障害のある利用者と家族との接し方」公益財団法人横須賀市健康福祉財団令和3年度第3回介護職のための在宅療養セミナー. 2022.2.21
- 14) 講演:「大人の生活」横浜市中部地域療育センター家族のための心理勉強会. 2022.2.22
- 15) 講演:「支援とは何かー障害のある人への支援で感じる困難さに向き合う」横須賀市基幹支援センター主催研修会. 2022.3.11
- 16) 講演:「対人支援における大切なことー夢ある支援を一緒に考えるー」神奈川県立中井やまゆり園令和3年度自己評価・研修委員会主催研修, 2022.2.4

## 8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部において保健医療福祉論Ⅰ，ソーシャルワークⅢ，ソーシャルワーク演習Ⅰ，ソーシャルワーク演習Ⅱ，ソーシャルワーク実習，ソーシャルワーク実習指導Ⅰ，ソーシャルワーク実習指導Ⅱ，社会福祉基礎演習Ⅱ，形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援（2回）」を担当。
- 2) ボランティアセンター，H.S.C（ほっとするクラブ），UDKS（浦賀団地活性化サークル），卓球サークル，剣道サークル，顧問。
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「相談援助の理論と方法」を担当。2021.12

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会研究助成部門委員。2018.4～2022.3
- 2) ヒューマンサービス委員会委員。2021.4～
- 3) 地域貢献研究センター地域貢献部門会議委員。2021.4～
- 4) 自己評価専門部会委員。2021.4～
- 5) 社会福祉士国家試験対策講座担当者。2021.4～

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈研究代表者，岸川学，池田公平，長島俊輔，田中和美，樋口良子，内海淳。谷戸地区で暮らす住民の健康増進活動に関する実態調査。地域貢献研究センター研究助成，250千円，2021.5.1～2022.3.31。
- 2) 黒河内仙奈研究代表者，岸川学，池田公平，長島俊輔，田中和美，樋口良子，内海淳。谷戸地区で暮らす住民の健康増進に向けた支援の検討ー健康増進における課題抽出と地域住民の内発的動機付けの促進。研究助成 A（協働研究），677千円，2021.5.1～2022.3.31。

## 種田 綾乃 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1 著書

- 1) 種田綾乃.(2021).「当事者」の力と地域共生—精神障害者当事者活動の展開地域の実態から. 西村淳編, 地域共生社会と社会福祉(p.210-p.220). 東京: 星和書店.

### 2 学術論文

- 1) Sosei Yamaguchi, Sayaka Sato, Yasutaka Ojio, Takuma Shiozawa, Asami Matsunaga, Ayano Taneda, Utako Sawada, Koji Yoshida, Chiyo Fujii. (2021). Assessing stable validity and reliability of the Japanese version of the individualized supported employment fidelity scale: A replication. *Neuropsychopharmacology reports*, 41(2) 248-254.
- 2) 池田朋広, 種田綾乃, 高木のり子, 千原悠一, 江島智子, 赤畑淳, 増川ねてる, 稲本淳子, 千坂奏. (2021). リカバリー志向の介入プログラムの実践—複数の介入法をパッケージ化したワークブックの作成とその実践経験から—. *精神医学*, 63(12) 1873-1882.
- 3) 伊藤順一郎, 福井里江, 松谷光太郎, 山口創生, 藤田英親, 種田綾乃, 板垣貴志. (2021). 精神科診察のなかで患者の権利,意思を尊重するとはどういうことか—コンピュータシステム"SHARE"開発研究からみえてきたこと. *精神神経学雑誌*, 123(4), 206-213 2021年4月.

### 3 その他の著作

- 1) 種田綾乃, 三宅美智, 山口創生, 岩崎香.(2022). ピアサポート養成研修のプログラム評価に関する研究. 令和2年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「障害者の地域移行及び地域生活支援のサービスの実態調査及び活用推進のためのガイドライン開発に資する研究」分担研究報告書.
- 2) 株式会社浜銀総合研究所, 坂田増弘, 岩崎香, 上島雅彦, 岡本和子, 櫻田なつみ, 種田綾乃, 野本学, 山口創生. (2022). 厚生労働省科学研究費補助金(障害者総合福祉推進事業)「精神科医療機関におけるピアサポートの現状と活用に関する調査」総括総括報告書.
- 3) 社会福祉法人豊苜会, 岩崎香, 秋山剛, 安部恵理子, 飯山和弘, 五十嵐信亮, 井谷重人, 市川剛, 岩上洋一, 内布智之, 太田令子, 小笠原啓人, 門屋充郎, 彼谷哲志, 小阪和誠, 栄セツコ, 佐々木理恵, 島津渡, 四ノ宮美恵子, 平良幸司, 種田綾乃, 他. 「障害者ピアサポート研修における講師の養成のための研修カリキュラムの効果測定及びガイドブックの開発」報告書
- 4) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会, 水野拓二, 尾形多佳士, 山本めぐみ, 増田喜信, 阿部祐太, 大山和宏, 岡安努, 木本達男, 三溝園子, 鈴木圭子, 種田綾乃, 中野千世. (2022). 藤井千代, 行實志都子, 鈴木孝典, 種田綾乃.(2021). 「精神医療審査会に関するアンケート調査」報告書(公益社団法人日本精神保健福祉士協会発行).
- 5) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 編集. (2021). 虐待事件等における入院患者意向調査ツール.

#### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 (2020年4月～現在)
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者 (2017年10月～現在)
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 (2018年7月～現在)
- 4) 秦野市教育委員会・教育研究所 専門相談員 (スクールソーシャルワーカー)・第三者委員 (2018年4月～現在)
- 5) 平塚保健福祉事務所秦野センター 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 アドバイザー (2019年10月～現在)
- 6) 秦野市いじめ問題対策調査委員会 委員 (2021年4月～現在)
- 7) 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会 実行委員会 委員 (2020年10月～2021年12月)
- 8) おかやま UFE 理事 (2021年12月～現在)

#### 5 社会貢献

- 1) 障害者ピアサポート専門員養成研修 企画委員・講師 (2016年4月～現在)
- 2) ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査及び検討に関する委員会 委員 (2018年4月～現在)
- 3) ピアサポート文化を広める研究会 委員 (2017年9月～現在)
- 4) あいメンタルクリニックリカバリーセンター 講師 (2018年9月～現在)
- 5) 秦野市地域生活支援センター「ばれっと・はだの」 アドバイザー (2019年4月～現在)
- 6) 秦野子ども支援プロジェクト「ゆう」 会員 (2017年4月～現在)
- 7) 秦野市教育委員会「はだのっ子あんしん相談室」専門員 (緊急事態宣言下での専門職による電話相談)
- 8) WEB オープンキャンパス、ミニオープンキャンパス、キャンパスツアーに関する企画・動画作成・当日運営
- 9) 新型コロナウイルス感染症に係る保健所への応援派遣への対応

#### 6 講演，放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学・実践教育センター共催の「令和3年度実習指導者養成教育(社会福祉士実習指導者講習会)」にて、「実習スーパービジョン論(演習)」の講師を務めた，神奈川，2021年6月19日。
- 2) 神奈川県教育委員会主催の「ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修講座」にて、「社会福祉援助技術演習」の講師を務めた，神奈川，2021年8月4日。
- 3) 日本大学藤沢高等学校・藤沢中学校の「令和3年度第2回教職員研修会」において、「支援の必要な生徒に対するチーム対応」についての講演を行った，神奈川，2021年11月16日。
- 4) 横浜ピアスタッフ協会主催の「ピアマスタースクーリング」において、「実習に臨む受講生へ ソーシャルワークの視点から」に関する講話を行った，横浜，2021年11月22日。
- 5) 千葉県障害福祉事業課主催の「令和3年度千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研

修」にて、「ピアサポート専門員総論」についての講義を担当した，千葉，2021年10月30日。

- 6) 秦野市地域活動支援センターぱれっと・はだの主催の「秦野市ピア学習会」の連続講座の企画および講師・ファシリテーターを務めた，神奈川，2021年8月24日・10月26日・11月30日・2022年1月25日・2月22日・3月29日。

## 7 学会等での活動

- 1) 山口創生，種田綾乃，吉田光爾：日本版個別型援助付き雇用フィデリティ尺度の妥当性：3年間の追試のまとめ．第9回日本精神保健福祉学会全国学術集会，岡山，2021年6月27日。
- 2) 種田綾乃，山口創生，三宅美智，秋山浩子，市川剛，森幸子，彼谷哲志，中田健士，栄セツコ，坂本智代枝，岩上洋一，門屋充郎，内布智之，岩崎香：障害者ピアサポーター養成研修のリモート開催の試みと受講者における効果・課題．第56回日本精神保健福祉士協会全国大会／第20回日本精神保健福祉士学会学術大会（オンライン学会），2021年9月11日。
- 3) 木本達男，種田綾乃，尾形多佳士，山本めぐみ，増田喜信，鈴木圭子，岡安努，三溝園子，中野千世，大山和宏，阿部祐太，岩尾貴，田村綾子，行實志都子：精神保健福祉士の視点から見た精神医療審査会の現状と課題～全国精神医療審査会事務局へのアンケート調査から～．第56回日本精神保健福祉士協会全国大会／第20回日本精神保健福祉士学会学術大会（オンライン学会），2021年9月11日。
- 4) 種田綾乃，池田朋広，江島智子，青木彩香，増川ねてる，小松崎智恵，石川亜弓，長谷川恵子：精神障害と物質使用障害を併存する者に対する支援の実情と理想像とは一支援者に対するフォーカス・グループインタビューから一．日本精神障害者リハビリテーション学会第28回愛知大会（オンライン学会），2021年12月11-12日。
- 5) 相川章子，荒井浩道，濱田由紀，種田綾乃：精神障害者のピアサポートによる福祉的予防に関する探索的研究．日本精神障害者リハビリテーション学会第28回愛知大会（オンライン学会），2021年12月11-12日。
- 6) 荒井浩道，相川章子，濱田由紀，種田綾乃：ピアサポートにおける「支え合い」の経験—テキストマイニングによる探索的分析—．日本精神障害者リハビリテーション学会第28回愛知大会（オンライン学会），2021年12月11-12日。
- 7) 種田綾乃，池田朋広：精神障害と物質使用障害を併存する者をめぐる支援の現状—支援者へのグループインタビュー調査をもとに—．令和3年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会（オンライン開催），2021年8月23日。
- 8) 西村淳，中村美安子，高橋恭子，川村隆彦，山本恵子，大島憲子，川久保寛，吉中季子，在原理恵，行實志都子，石井忍，岸川学，種田綾乃：地域共生社会と社会福祉に関する研究．令和3年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会（オンライン開催），2021年8月23日。

## 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：人間関係とコミュニケーションⅠ、社会福祉基礎演習Ⅰ、ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークⅡ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワ



## ーク演習 I・II

- 2) ソーシャルワーク実習報告会の運営、社会福祉士実習指導者講習会の企画・運営等
- 3) 大学院修士課程の学生の指導補助教員

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 委員
- 2) 地域貢献研究センター研究支援部門 委員  
(自己評価審査会専門部会委員を兼務)
- 3) 動物実験専門部会 委員
- 4) 学科オープンキャンパス 委員
- 5) オリエンテーション 委員

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 岩崎香, 野澤和弘, 山口創生, 種田綾乃. 地域共生社会の実現に資する障害福祉人材の確保、養成のための研究, 厚生労働省科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業, 2021年4月～2024年3月. (研究分担者)
- 2) 坂田増弘, 岩崎香, 上島雅彦, 岡本和子, 櫻田なつみ, 種田綾乃, 野本学, 山口創生. 精神科医療機関におけるピアサポートの現状と活用に関する調査. 厚生労働省科学研究費補助金 障害者総合福祉推進事業, 2021年4月～2022年3月. (研究協力者)
- 3) 岩崎香, 秋山剛, 安部恵理子, 飯山和弘, 五十嵐信亮, 井谷重人, 市川剛, 岩上洋一, 内布智之, 太田令子, 小笠原啓人, 門屋充郎, 彼谷哲志, 小阪和誠, 栄セツコ, 佐々木理恵, 島津渡, 四ノ宮美恵子, 平良幸司, 種田綾乃, 他. 障害者ピアサポート研修における講師の養成のための研修カリキュラムの効果測定及びガイドブックの開発, 厚生労働省科学研究費補助金 総合福祉推進事業, 2021年4月～2022年3月. (研究協力者)
- 4) 相川章子, 濱田由紀, 荒井浩道, 種田綾乃, 横山和樹. ピアスタッフの固有性および価値に関する探索的研究, 日本学術振興会科学研究費助成 基盤研究 C, 2021年4月～2024年3月. (研究協力者)

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 種田綾乃, 川嶋恵子, 小川のり子. 精神障害者ピアサポーターの新任者に対するスーパービジョン体制づくり, 地域貢献研究センター研究事業, 278,470円, 2021年5月～2022年3月.
- 2) 種田綾乃, 池田朋広. 精神障害と物質使用障害を併存する者に対するリカバリー志向の支援のあり方に関する研究—支援ツールキット ITCOD 日本語版の完成と普及に向けたインタビュー調査—, 研究助成 B (奨励研究) 助成金, 625,688円, 2021年6月～2022年3月.

## 井上 夏子

### 2 学術論文

- 1) 井上夏子 (2021)「精神保健福祉領域における「パートナーリズム」ー法学領域における「自由」「自律」「権威」の捉え方を切り口としてー」『社会福祉学』(明治学院大学大学院紀要) 第46号, pp11-21。

### 3 その他の著作

- 1) 稲垣佳代 井上夏子 木太直人 (2022) 令和3年度 公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉振興関係調査研究助成事業『地域移行支援における精神保健福祉士・社会福祉士のコンピテンシーに関する研究』「地域相談支援の実施体制づくり, 地域移行を促進するしかけに係るコンピテンシー」調査報告書

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会 委員 (2021年8月～現在)

### 5 社会貢献

- 1) 横須賀市障害区分等認定審査会 審査委員 (2019年4月～現在)
- 2) 立川マック (東京都立川市) 職員研修講師 (2021年11月～現在)

### 7 学会等での活動

- 1) 日本社会福祉学会、日本社会精神医学会、日本精神保健福祉学会、日本精神保健福祉士協会、神奈川県精神保健福祉士協会の会員として、研究活動等に従事した。
- 2) 日本精神保健福祉士協会として、ソーシャルケアサービス協議会が受託した調査研究に研究者として参加した。
- 3) 日本精神保健福祉学会 第9回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会(岡山大会)にて、「精神保健福祉領域における『パートナーシップ』の捉え方ー専門的援助関係のあり方を焦点としてー」の演題で学会発表した。
- 4) 日本精神保健福祉学会 第9回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会(岡山大会)にて、実行委員会企画「論文査読を通して論文の書き方を考えるー結果を正しく伝えるテクニクー」の所感を原稿執筆した。

### 8 学内教育活動

- 1) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神障害者の生活支援システム」「精神科リハビリテーション学」「精神福祉援助技術総論」を担当した。
- 2) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉援助実習」及び「精神保健福祉援助演習」の補佐的役割を担った。
- 3) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の国家試験対策を担当した。
- 4) 社会福祉学科2年次の「社会福祉基礎演習II」のクラス担当として、指導にあたった。
- 5) 精神保健福祉士課程の学生の学習上の相談に応じ、指導を行った。

- 6) 精神保健福祉援助実習における実習機関の指導者と連携し、巡回や電話相談などの機会をもって、学生の円滑な実習の実施に努めた。

#### 9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会の委員として活動に取り組んだ。
- 2) オープンキャンパスの学科担当教員として、オンラインでの実施のための視聴資料の企画・作成、協力学生のサポートに取り組んだ。
- 3) 卒業・修了式、入学式実行委員として、活動に取り組んだ。

#### 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 「公益財団法人社会福祉振興・試験センター・社会福祉振興関係調査研究助成事業」を受託し、「地域移行支援における精神保健福祉士・社会福祉士のコンピテンシーに関する研究」・「地域相談支援の実施体制づくり，地域移行を促進するしかけに係るコンピテンシー」調査報告のための研究活動に従事した。

#### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 「研究助成 B (奨励研究)」を受託し、「精神保健福祉領域における当事者とソーシャルワーカーのパートナーシップー当事者から見た関係性に焦点をあててー」を課題とした研究活動に従事した。

## 打越 友実

### 2 学術論文

- 1) 打越友実 (2021). 実践への適用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証① - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会編『福祉学』1(1), 5-14.

### 7 学会等での活動

- 1) 打越友実, 小林理, 新保幸男: 1920 年代の自己決定概念に関する研究 - バイステックとシュヴァイニッツの文献に着目して - . 2021 年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2022 年 3 月 13 日.
- 2) 小林 理, 打越友実, 新保幸男: 社会的養護における人材育成に関する研究 -A 県における児童相談所および社会的養護施設専門職の研修環境を中心に-. 2021 年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2022 年 3 月 13 日.
- 3) 新保幸男, 小林理, 赤木拓人, 打越友実: 社会的養護における研修に関する研究 - 「特別養子縁組養親研修」と「社会的養護専門職研修」との比較を中心として - . 2021 年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2022 年 3 月 13 日.
- 4) 打越友実 (2021). 「クライアントの判断能力の程度に応じた自己決定」に関する研究 - バイステックの 4 文献の分析を通して - . 福祉学研究会第 1 回学術集会要旨集, 3.
- 5) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証① - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 2 回学術集会要旨集, 4 - 6.
- 6) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証② - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 3 回学術集会要旨集, 4-8.
- 7) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証③ - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 4 回学術集会要旨集, 7-10.
- 8) 打越友実・小池祐紀・小林理・松下佑佳・新保幸男 (2021) (シンポジウム) コロナ渦とソーシャルワーク実習, 福祉学研究会第 4 回学術集会要旨集, 3, 2021 年 8 月 9 日.
- 9) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証④ - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 5 回学術集会要旨集, 4-7.
- 10) 打越友実 (2021). 保健・医療・福祉の倫理綱領における「自己決定」の位置づけに関する研究. 福祉学研究会第 6 回学術集会要旨集, 4-8.
- 11) 打越友実 (2021). 保健・医療・福祉の倫理綱領における「自己決定」の位置づけに関する研究②. 福祉学研究会第 7 回学術集会要旨集, 3-9.
- 12) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再検証⑤ - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 8 回学術集会要旨集, 5-8.
- 13) 打越友実 (2021). 実践への応用を見据えたソーシャルワークにおける自己決定概念の再

- 検証⑥ - バイステックの博士論文における 1920 年代の自己決定概念に着目して - . 福祉学研究会第 9 回学術集会要旨集, 9-18.
- 14) 打越友実 (2021). 1920～1930 年代におけるソーシャルワーク理論に関する研究① - バイステックの博士論文に引用された主要文献の著者に注目して - . 福祉学研究会第 10 回学術集会要旨集, 7-10.
  - 15) 打越友実 (2021). ソーシャルワークの価値と倫理に関する研究① - クライエントの自己決定の尊重との関連を中心として - . 福祉学研究会第 11 回学術集会要旨集, 4-9.
  - 16) 打越友実 (2021). ソーシャルワークの価値と倫理に関する研究②. 福祉学研究会第 12 回学術集会要旨集, 8-13.
  - 17) 打越友実 (2021). 「クライエントの判断能力の程度に応じた自己決定」に関する研究 - バイステックの 4 文献の分析を通して - . 福祉学研究会第 13 回学術集会要旨集, 9-16.
  - 18) 打越友実 (2021). 「クライエントの判断能力の程度に応じた自己決定」に関する研究② - バイステックの 4 文献の分析を通して - . 福祉学研究会第 14 回学術集会要旨集, 4-11.
  - 19) 打越友実 (2021). 「クライエントの判断能力の程度に応じた自己決定」に関する研究③ - バイステックの 4 文献の分析を通して - . 福祉学研究会第 15 回学術集会要旨集, 4-11.
  - 20) 打越友実 (2021). 1920～1930 年代におけるソーシャルワーク理論に関する研究 バイステックの博士論文に引用された主要文献に着目して. 福祉学研究会第 16 回学術集会要旨集, 5.
  - 21) 打越友実 (2021). 1920 年代の自己決定概念に関する研究 バイステックとシュヴァイニッツの文献に着目して. 福祉学研究会第 17 回学術集会要旨集, 6.
  - 22) 打越友実 (2021). 1920 年代の自己決定概念に関する検討② バイステックとシュヴァイニッツの文献に着目して. 福祉学研究会第 18 回学術集会要旨集, 4.
  - 23) 新保幸男・小林理・赤木拓人・打越友実 (2022). 社会的養護専門職研修についての検討 (1). 福祉学研究会第 18 回学術集会要旨集, 6-8.
  - 24) 打越友実 (2021). 「ソーシャルワーカーによる実践の思想史的生成」に関する研究① - 加藤 (2016) 論文の概括 - . 福祉学研究会第 19 回学術集会要旨集, 4-8.
  - 25) 打越友実 (2021). 「ソーシャルワーカーによる実践の思想史的生成」に関する研究② - 加藤 (2016) 論文の概括 - . 福祉学研究会第 20 回学術集会要旨集, 4-8.

## 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ（分担），ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ（分担），保健医療福祉論Ⅰ（補助），ヒューマンサービス総合演習（補助），社会福祉調査論（ゲストとして参加，2021年6月17日），ソーシャルワークの基盤と専門職（ゲストとして分担，2021年12月17日，2022年1月7日）
- 2) 実習指導者懇談会・ソーシャルワーク実習報告会の運営，社会福祉士実習指導者講習会の運営

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの企画・当日運営
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当.
- 3) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)における面接会場への

誘導業務(2021年11月23日, 2022年2月25日, 3月12日).

4) 大学入学共通テスト試験 1 日目の試験官業務(2022年1月15日).

14 その他

1) 学内ワクチン接種会場の誘導業務.

2) 横須賀市保健所への新型コロナウイルス感染症に係る派遣業務.

## 松田 愛美

### 3 その他の著作

- 1) 共著者 15名,松田愛美は 10 番目.(2021). コロナ禍における介護実習への対応と協働: 本学を取り巻く関係機関との取り組み報告(特集 新型コロナウイルス感染拡大下における介護実習の現状と課題) -- (今, 介護福祉士養成施設にできること). 介護福祉教育, 25(1), 21-32. Retrieved from <https://ci.nii.ac.jp/naid/40022621789/>, 5 章他大学との教材開発を執筆.

### 5 社会貢献

- 1) 2021年8月6日 第19回かながわ高齢者福祉研究大会において研究発表の審査を担当.
- 2) 2021年11月30日 横須賀市令和2年度・3年度(第15回)地域包括支援センター運営事業評価において総評を執筆.
- 3) 社会福祉法人ユアアイ 21 小規模多機能型居宅介護事業所太陽の家逸見倶楽部運営推進委員(通年).
- 4) 大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員(通年).
- 5) 三浦市社会福祉協議会日常生活自立支援事業契約締結審査会委員(通年).

### 9 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパスの企画・責任者(WEB オープンキャンパス・キャンパスツアー・ミニオープンキャンパス)(通年).
- 2) 学科共同研究室責任者(通年).
- 3) 介護福祉士養成校施設協会の運営委員会において神奈川県立保健福祉大学の代表として活動している(通年).
- 4) 卒業・修了式, 入学式実行委員(通年).
- 5) 学科別オリエンテーション担当(通年).
- 6) 時間割編成ワーキンググループ(通年).

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 松田愛美, 課題名「サーバントリーダーシップがもたらす介護職チーム強化～特別養護老人ホームのユニットケアに着目して～」, 令和3年度神奈川県立保健福祉大学研究助成B, 交付金額 474958 円, 研究期間 2021年4月1日～2022年3月31日.